

	<small>さとう まゆみ</small> 佐藤 繭美
専門分野	社会福祉援助論(ソーシャルワーク論) グリーフケア(悲嘆)研究
ゼミのテーマ	当事者・家族から学ぶ社会福祉援助のあり方
ゼミの内容	<p>人はあらゆる体験を通して知識や生き抜く術を獲得しているといえます。特に、悲しみや苦難から得られた「体験的知識」は、社会福祉援助(以下、ソーシャルワーク)において見過ごすことのできない「当事者の力」です。ゼミでは、専門職であろうとする前に、「人として」何を大切にすることがあるのかを多角的に討議し、共有することを目指します。</p> <p>具体的には、障害のある人(自閉症者、精神障害者)やその家族、子どもを亡くした人々、認知症高齢者を介護する家族、犯罪被害者、暴力を受ける女性など「当事者」と呼ばれる人びとの「体験的知識」を知るところからスタートし、ソーシャルワークのあり方についてグループ学習を中心に実施していきます。</p> <p>さらに、大学内だけでの学びにとどまらず、学外での当事者活動や家族会(犯罪被害者の家族会、自閉症や発達障害の子どもをもつ親の会、認知症高齢者の家族会など)への参加や生活困窮者への炊き出し、施設見学(医療少年院、刑務所、精神科病院、自閉症教育に特化した学校など)を実施し、ゼミ生自らが「体験的知識」を得ることによって、専門職とは何か、ソーシャルワークとは何かを考究していきます。</p> <p>基本的には学生主体の運営で、フィールドワークやグループ討議、文献研究などを行うなかで、相互に刺激し合い、楽しいと思えるゼミを作っていくことを目指してほしいと思っています。</p>
次年度選考会 選抜方法	A4の用紙1枚(1200字程度、ワープロ使用)に、①自己紹介、②研究してみたいテーマについてまとめて提出してください。その後、個別面接を実施します。